

取締強化!



イボクサ



ホタルイ

2葉期



ノビエ



アゼナ類



コナギ



クログワイ



オモダカ

アルテア

ノビエに長期残効を有する。
ホタルイ、クログワイなどの
多年生雑草の生育を根から抑える。

 アルテア配合
地上部だけでなく
地下部も...

強力な3成分配合

ピラゾレート  **ベンゾピシクロン**

稲に対する薬害が少ない。
ノビエだけでなく、
オモダカにも有効。

ホタルイ、コナギに強い。
畦畔から侵入する
イボクサ等にも有効。

ピラゾレートとベンゾピシクロンの共力効果!
ホタルイに、より一層効果が
安定します。

多年生雑草の 生育を 根から抑える!

アールタイプ®

フロアブル

農林水産省登録
第23716号



農林水産省「稲発酵粗飼料
生産・給与技術でニューアール」
に掲載された農薬です。

水稲用 初・中期一発処理除草剤

アールタイプ[®]フロアブル

有効成分：
 ピラゾレート………18.2%
 ベンゾピシクロン ……3.6%
 メタゾスルフロン ……1.1%
 人畜毒性：普通物[※]

[※]「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、
 特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

特長

- 新規有効成分メタゾスルフロン配合で、多年生のホタルイ、クログワイ、オモダカの発生を根から抑制します。
- SU抵抗性雑草(ホタルイ、アゼナ、コナギなど)にも有効です。
- 発生後のノビエ、ホタルイも枯殺します。

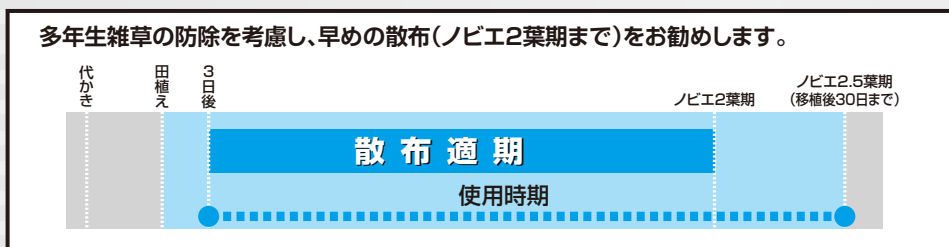
適用雑草および使用方法

(2019年11月6日現在の登録内容)

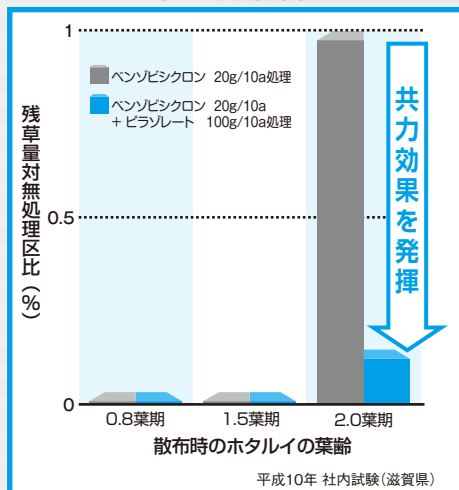
作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植後3日～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	500mℓ /10a	1回	原液湿水散布、 水口施用 又は 無人航空機 による滴下
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

ピラゾレートを含む 農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む 農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	3回以内	2回以内

上手な使い方(移植水稲の場合)



ピラゾレートとベンゾピシクロンのホタルイに対する共力効果



草種別使用時期

雑草名	移植水稲	直播水稲
ノビエ	2.5葉期まで	2.5葉期まで
ホタルイ	3葉期まで	3葉期まで
ミズガヤツリ	3葉期まで	2葉期まで
ウリカワ	3葉期まで	発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで	—
クログワイ	発生前～ 発生始期まで	—
オモダカ	発生前～ 発生始期まで	—
シズイ	草丈3cmまで	—
ヘラオモダカ	2葉期まで	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで	発生期まで
セリ	再生前～ 再生始期まで	再生前～ 再生始期まで

使用上の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 所定の使用量を厳守してください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレグが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湿水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布してください。
- 本剤処理後、少なくとも3～4日間は通常の湿水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意してください。また散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湿水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水がふれ出ないように注意してください。
- 本剤を無人航空機による滴下に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 ・滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 ・滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないでください。

- ・作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。
- ・隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないでください。水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- ・薬液滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- ・本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬液散布には使用しないでください。
- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布してください。
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので、使用をさけてください。
- 補植は必ず散布前に行ってください。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 ・砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 ・軟弱な苗を移植した水田
 ・極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください
- 畜に対して影響があるので、周辺の養業にはかからないようにし

- ててください。
- 空容器等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。また、処理薬剤は残さずに使い切ってください。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないでください。
- 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理してください。また、使用した機器等は水稲用薬剤以外に使用しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象時は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

安全使用上の注意

- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

保管

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
 ○空容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記帳しましょう。

*本製品は水稲用除草剤であり、製品ラベルの記載以外には使用しないでください。

*本印刷物は2019年11月6日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

RTF1F01E



三井化学アグロ株式会社
 東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
 ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>